

平成26年度日本保険学会全国大会  
共通論題「保険業規制と国際的調和」

# 保険業規制の国際協調のあり方に関する考察 —保険のリスク移転と金融仲介機能に焦点をあてて—

京都産業大学  
諏澤吉彦

## 背景と動機

- 保険企業は、様々な経済主体に対してリスク移転と補償の手段を提供することをとおして、各国経済・社会の発展と安定に貢献する。
- 保険企業は、保険契約の引受けをとおして蓄積した保険資金を投資・運用に充てることで、経済主体の活動を支えている。
- 企業活動、投資活動および保険事業が国際的に展開していくと同時に、世界経済・社会の持続的発展に向けて保険事業が貢献することへの期待が高まっている。

# 研究の目的

- 保険事業が国際化するなか、保険が、そのリスク移転と金融仲介機能を発揮し、世界経済・社会の持続性に資するためには、保険規制に関して、どのような国際協調の枠組みが求められるのかを探る。

# ご報告の内容

## 1. 保険事業の経済・社会的機能

- (1) リスク移転機能
- (2) 金融仲介機能

## 2. 保険事業への国際社会からの期待

- (1) 保険事業の国際化
- (2) 保険事業と持続的国際社会

## 3. 保険事業の国際化と保険規制

- (1) 伝統的保険規制
- (2) 保険事業の国際化と市場特性の変化
- (3) 保険のリスク移転と金融仲介機能への影響

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

- (1) 健全性規制
- (2) 市場行動規制
- (3) 競争(競争制限)規制

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (1) リスク移転機能

- 保険の基本的機能は、リスク移転と補償の手段を、多様なリスクにさらされる経済主体に提供すること。
- 保険のリスク移転・補償機能は、個人・家計および企業・組織の財務的安定 (financial stability) をもたらす。
- ひいては、消費活動の促進、資本の生産性向上、革新的技術開発、生活保障システムの補完といった二次的な効果をもたらし、経済・社会の持続性に貢献すると期待できる。

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (1) リスク移転機能

### ① 消費活動の促進

- 保険による財務的安定は、個人・企業の商品・サービスの(とくに高額の)消費活動を促進する。
- 保険による需要と消費の維持は、商品・サービスの生産、企業の雇用活動の活性化といった正の外部性をもたらし得る。

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (1) リスク移転機能

### ② 資本の生産性向上

- 保険企業に様々なリスクを移転できれば、投資家は起こりうる損失に備えて多額の資金を流動性の高いかたちで準備する必要性が減り、より多くの資金を投入することができる。
- 同様に企業も、より多くの資源を、将来性のある(しかしリスクが高いかもしれない)プロジェクトに投資に投入することができる。

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (1) リスク移転機能

### ③ 革新的な技術開発の促進

- 企業が直面する新たなリスクを移転することができれば、不確実なプロジェクトへの投資を促し、その結果、新たなロスコントロール技術やエネルギーシステムを含む革新的な技術開発にもつながる。

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (1) リスク移転機能

### ④ 生活保障システムの補完

- 個人が疾病・傷害、老齢、失業などのリスクに対して民間の保険が入手可能であれば、公的な生活保障システムにかかるコストとそのため  
の納税者の負担を軽減するとともに、社会資本整備など租税収  
入資源の効果的配分と利用が可能となる。

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (2) 金融仲介機能

- 保険企業は、適切な保険契約ポートフォリオ管理によりリスク分散を図っていることを前提とすれば、保険資金の多くを公社債、株式などの有価証券として運用することをおして、市場への資金提供者としての役割を果たす。
- 多数の保険契約者の支払う保険料を集積することにより、その保険資金を大規模な投資に充てることができると同時に、資金の集積は、より分散化したポートフォリオ構成を可能にする。

# 1. 保険事業の経済・社会的機能

## (2) 金融仲介機能

- 保険料水準を競争力あるものとするために投資収益を見込んで価格設定を行っている場合には、保険企業は、安全性と同時に投資収益を最大化する強いインセンティブを持つ。
- 保険企業は、投資先に対するモニタリングを強化し、安全性と収益性を重視した効果的な資金配分にも貢献すると考えられる。

## 2. 保険事業への国際社会からの期待

### (1) 保険事業の国際化

- 1990年代以降の新興市場の経済成長、国際取引の自由化、情報技術およびそれを基礎としたネットワーク社会の急速な発展など。

⇒商品・サービスの国際取引の活発化や海外投資の増加など、企業活動・投資活動がグローバル化。

⇒同時に一部の保険企業の海外進出、国際的な連携、そして国際的金融・保険グループの形成と成長などに見られるように、保険事業のグローバル化が進展。

## 2. 保険事業への国際社会からの期待

### (1) 保険事業の国際化

- 保険を含む金融市場のグローバル化は、2000年代に入りアジア金融危機の世界経済への波及や米国のサブプライムローン問題に端を発する金融・保険グループの経営危機とその後の経済停滞をもたらすことにもつながった。

⇒ 国際保険規制・監督体制の必要性が認識。実際にもIAISが、保険監督者間の国際的な協調と情報交換の促進や金融各分野の規制監督者とのコーディネーションなどに取り組んでいる。

## 2. 保険事業への国際社会からの期待

### (1) 保険事業の国際化

- IAISの保険基本原則(Insurance Core Principles)を、保険基本原則を規制領域に注目して見れば、①財務健全性に関する事項(負債、投資、デリバティブ契約やソルベンシーなど)、②市場行動に関する事項(保険仲介者、消費者保護や情報開示など)、③マネジメントに関する事項(免許交付、ガバナンス、内部統制など)を含む。
- 保険監督規制の国際的な調和を目指すと同時に、各市場の発展段階や、歴史的・文化的背景の違いにも配慮している。

## 2. 保険事業への国際社会からの期待

### (2) 保険事業と持続的国際社会

- 世界的に少子高齢化が進展するとともに、大規模自然災害が頻発するなか、保険がそのリスク移転と金融仲介機能をとおして持続的世界経済・社会の実現に資することが、国際社会からも期待されている。
- 国連環境計画金融イニシアチブ(UNEP Financial Initiative)が2012年に発表した『持続的保険の基本原則』(Principles for Sustainable Insurance: PSI)においても、保険事業の持続的国際経済・社会への貢献が呼び掛けられている。

## 2. 保険事業への国際社会からの期待

### (2) 保険事業と持続的国際社会

- PSIは、国際社会が直面する少子高齢化などの問題を認識したうえで、リスク軽減、革新的技術開発の促進、そして環境・社会・経済の持続性を確保するためのガバナンスの構築などに、民間の保険事業が貢献し得るとしている。

#### 【PSI基本原則】

原則1. 事業に関するあらゆる意思決定の局面において、環境、社会およびガバナンスに関する諸課題を考慮する。

原則2. これらの諸課題に関して顧客およびビジネスパートナーの認識を高め、解決策を探る努力をする。

原則3. 各国政府や規制監督者およびその他の主要なステークホルダーと協働し諸課題について社会全体での幅広い行動を促す。

原則4. PSI実施の進捗状況を信頼性と透明性を確保したうえで定期的にディスクローズする。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (1) 伝統的保険規制

- 規制による公的介入は、市場の不完全性によってもたらされる非効率（取引当事者のコスト負担の増加など）を縮小することを目的として行われる。
- 完全市場は、①取引に関する情報が完全であること、②特定の当事者が市場支配力を持たないこと、そして③負の外部性がないことを要件とする。
- 従来から保険市場においては、①取引に関する情報の完全性の問題が重視された。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (1) 伝統的保険規制

- 保険市場における情報の不完全性：

① 保険料率・商品内容に関する情報の不完全性・不均衡

② 保険企業の支払能力に関する情報

⇒ 潜在的な保険契約者のサーチコストの負担増

保険企業のシグナリングコストの負担増

③ 被保険エクスポージャーのリスク実態に関する情報

⇒ 保険契約者の逆選択とモラルハザード防止のための

コストの増加

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (1) 伝統的保険規制

- 金融市場における公的規制は、①健全性規制 (prudential regulation)、②市場行動規制 (market conduct regulation)、③競争 (競争制限) 規制 (competition regulation) の分野において行われてきた。

①健全性規制：金融機関の財務健全性の維持

②市場行動規制：取引当事者間の情報不均衡の是正

③競争 (競争制限) 規制：不適切な競争の防止

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (1) 伝統的保険規制

- 情報の不完全性・不均衡が重視された保険市場においては、  
①健全性規制と②市場行動規制に主軸が置かれてきた。

①健全性規制：財務規制, ソルベンシー規制, 支払保証基金など  
⇒保険企業の支払能力に関する情報不完全性の問題を緩和。

②市場行動規制：保険料率・商品規制、販売規制など  
⇒保険料率・商品内容に関する情報不完全性と  
保険企業の支払能力に関する情報不完全性の問題を緩和。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (1) 伝統的保険規制

##### ③競争（競争制限）規制

- 他の産業では、競争制限的行動の防止を目的。
- 保険市場においては、厳格な免許規制、市場参入規制、保険料率・商品規制などが、過度の価格競争をはじめとする破壊的競争（destructive competition）を防止するために、競争を制限する方向に設計され、実施されてきた。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (2) 保険事業の国際化と市場特性の変化

##### ① 保険料率・商品内容に関する情報の不完全性

- 保険商品の取引が各市場（法域）内で行われる限りは、情報の不完全性、取引当事者間の情報の不均衡に変化はないと考えられる。
- 取引が従来の各市場を超えて行われれば、情報の不完全性・不均衡は拡大するおそれがある。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (2) 保険事業の国際化と市場特性の変化

##### ② 保険企業の支払能力に関する情報の不完全性

- 国際的に事業を展開する保険グループなどの経営実態に関して、各市場（法域）の規制監督者は、十分な情報を得られないかもしれない。
- 個々の市場を超えて保険グループのユニット間で信用供与、証券取引、リスク移転取引が行われれば、そのグループ全体のリスク実態に関して不透明性が増す。
- 規制裁定（regulatory arbitrage）や負の影響の伝播（contagion）も起こりやすい。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (2) 保険事業の国際化と市場特性の変化

##### ③ 被保険エクスポージャのリスク実態に関する情報の不完全性

- 保険商品が、各市場（法域）内のエクスポージャを対象として、その市場内で提供される限りは、情報の不完全性、取引当事者間の情報の不均衡に変化はないと考えられる。
- 複数の市場にまたがって存在（活動）するエクスポージャを対象としてリスク移転取引がなされる場合は、情報の不完全性・不均衡は拡大するおそれがある。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (3) 保険のリスク移転と金融仲介機能への影響

##### ① リスク移転機能

- 保険のリスク移転機能は、保険料率・商品内容に関する情報と被保険エクスポージャーのリスク実態に関する情報の不完全性・不均衡の影響を強く受ける。

←個々の市場で設計された保険料率・商品規制、販売規制などの市場行動規制により対処。

- 保険によるリスク移転取引が各市場内で行われる限りは、情報の不完全性により保険のリスク移転機能が追加的に損なわれることはないが、保険取引が各市場を超えて行われれば、情報の不完全性・不均衡は拡大し、そのリスク移転機能を損なうかもしれない。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (3) 保険のリスク移転と金融仲介機能への影響

##### ① リスク移転機能

- 保険企業のリスク実態に関する不透明性が増せば、潜在的な保険契約者にとって、保険企業の支払能力の適切な評価が困難となる。

⇒ 保険企業・保険商品選択に関して適切な意思決定が困難となれば、保険のリスク移転機能は損なわれる。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (3) 保険のリスク移転と金融仲介機能への影響

##### ② 金融仲介機能

- 多国間で活動する巨大な保険グループなどの保険企業の経営実態  
リスク実態に関する不透明性が増せば、ステークホルダー（規制  
監督者、投資家など）にとって保険企業の支払能力の評価が困難  
となる。
- ステークホルダーのモニタリングが困難となれば、競争圧力にさ  
らされる保険企業は、リスクテイキングな投資行動をとるおそれ  
がある。

### 3. 保険事業の国際化と保険規制

#### (3) 保険のリスク移転と金融仲介機能への影響

##### ② 金融仲介機能

- 国際的に活動する保険グループなどの企業の規模が巨大となれば世界市場に及ぼす影響も大きくなり、規制監督者はTBTF（Too-Big-To-Fail）ポジションを取りやすくなる。
- 将来的に、保険企業が有利な法域に資産・資金を移転するなどの規制裁定が可能となれば、収益性と安全性の双方を重視する保険の金融仲介機能が損なわれるかもしれない。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (1) 健全性規制と国際的協調

- 健全性規制は、保険企業の支払能力に関する情報の不完全性・不均衡を緩和することを目的とする。
- 保険事業の国際化により拡大するおそれのある保険企業の経営・リスク実態の不透明性は、その支払能力に関する情報の不完全性に負の影響を及ぼすかもしれない。
  - ⇒ 保険契約者、投資家をはじめとするステークホルダーにとって  
支払能力の評価が困難。
  - ⇒ 保険のリスク移転機能と金融仲介機能に影響。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (1) 健全性規制と国際的協調

- 保険企業の支払能力を確保するために、健全性規制を構成する財務規制、ソルベンシー規制に一定の国際的協調、各市場の監督者間で統合された監督システムまたは迅速な情報交換が可能な協調体制の構築が求められる。
- ステークホルダーのモニタリングにより市場規律を機能させるためにも会計基準、破綻処理規制の国際的共通化が不可欠である。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (1) 健全性規制と国際的協調

- 支払保証基金などのセーフティネットが、各市場により異なれば、多国間で事業を行う保険グループなどが、有利な市場にリスクを移転することもある。
- 保険企業の規制裁定を回避するために、各市場間でセーフティネットの財源確保の方法（賦課金・拠出金の体系、事前または事後拠出の別など）、保護水準などを共通化することも必要かもしれない。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (2) 市場行動規制と国際協調

- 各市場の社会的、歴史的背景を十分考慮しない極端な規制緩和や、反対にリスク細分化の制限などの規制強化を伴う国際的な共通化は、保険料率・商品内容に関する情報不均衡を拡大し、保険のリスク移転機能を損なうおそれもある。

⇒個々の市場の特性や経済成長段階の違いを反映した保険料率・商品規制、販売規制を設計・実施すべきであり、国際協調は必ずしも求められない。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (2) 市場行動規制と国際協調

- 保険取引が複数の市場間で行われることとなれば、保険料率・商品内容に関する情報不完全性・不均衡は拡大しかねない。
- たとえば、多国間で活動する企業・組織に対してリスク移転の手段としての保険商品を提供する場合、各市場で異なる規制に従って取引を行うにはリスク判定・評価などのコストが過大となるおそれがある。
- 保険のリスク移転機能を確保するためには、少なくとも一部の企業分野の保険契約取引に関しては、市場行動規制の国際的協調も将来的に必要になるのではないか。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (3) 競争(競争制限)規制と国際協調

- 各市場の参入障壁が過度に高くなく、かつ適切な競争状態が保たれていれば、破壊的競争に陥ったり、大規模な保険企業が圧倒的な市場支配力を持つようなことはないと考えられる。

⇒免許規制、市場参入規制、保険料率・商品規制などは、各市場の発展段階、成熟度などに適合して個別に設計されるべきであり、必ずしも共通化は求められない。

## 4. 保険規制の国際的協調のあり方

### (3) 競争(競争制限)規制と国際協調

- 多国間、他分野で事業を展開する保険グループなどの経営実態の透明性が損なわれれば、国外または保険規制の対象外分野のユニットから、内部補助やフリーキャッシュフローの投入がなされるかもしれない。

⇒市場の競争を歪めるおそれ。

- 個々の市場での規制、あるいは、個々の市場の監督者間での情報交換体制の構築のみで、対処可能か。

むすびにかえて

- 保険事業の国際化は、保険企業のリスク実態に関する不透明性が増し、その支払能力に関する情報不均衡を拡大し、その結果、保険のリスク移転と金融仲介機能を損なうおそれがある。

⇒ 保険企業の支払能力に関する情報の不完全性・不均衡を補完するため、各市場において設計、実施されてきた健全性規制は、各市場間での共通化する必要があるのではないか。

## むすびにかえて

- 市場行動規制および競争（競争制限）規制に関しては、各市場の社会的、歴史的背景、発展・成熟段階を十分考慮しない極端な共通化は、情報不均衡や市場支配力の問題を拡大させるおそれがある。

⇒各市場の状況に適合して個別に設計されるべきである。

- 保険取引が複数の市場にまたがり行われる場合や、保険企業が過大な市場支配力を持つほど巨大化した場合は、各市場での市場行動規制、競争（競争制限）規制には限界があるため、さらなる検討が必要である。

## 主な参考文献

- Arena, M. (2008), "Does Insurance Market Activity Promote Economic Growth? A Cross-Country Study for Industrialized and Developing Countries," *Journal of Risk and Insurance*, 75(4): 921-946.
- Azman-Saini, W.N.W. and P. Smith (2011), "Finance and Growth: New Evidence on the Role of Insurance," *South African Journal of Economics*, 79(2): 111-127.
- Chen, E.F., C.C. Lee, and C.F. Lee (2012), "How Does the Development of the Life Insurance Market Affect Economic Growth? Some International Evidence," *Journal of International Development*, 24(7): 865-893.
- Curak, M., S. Loncar and K. Poposki (2009), "Insurance Sector Development and Economic Growth in Transition Countries," *International Research Journal of Finance and Economics*, 34: 29-41.
- Outreville, J.F. (2013), "The Relationship between Insurance and Economic Development: 85 Empirical Papers for a Review of the Literature," *Risk Management and Insurance Review*, 16(1): 71-122.
- Scordis, N. A., Y. Suzawa, A. Zwick and L. Ruckner (2014), "Principles for Sustainable Insurance: Risk Management and Value," *Risk Management and Insurance Review*, 17(2): 265-276.
- Skipper, H. D. (2000), "Financial Services Integration Worldwide: Promises and Pitfalls," *North American Actuarial Journal*, 4: 71-108.
- Skipper, H. D. and W. Jean Kwon (2007), *Risk Management and Insurance: Perspectives in a Global Economy*, Blackwell Publishing.
- Suzawa, Y. and M. Inoguchi (2012), "Insurance Industry Activity and Economic Development in the Asia-Pacific Region," *AU Journal of Risk Management*, 16: 1-16.
- Vaughan, E. J. and T. Vaughan (2008), *Fundamentals of Risk and Insurance*, 10th Edition, John Wiley & Sons, Inc.
- Ward, D. and R. Zurbrugg (2000). "Does Insurance Promote Economic Growth? Evidence from OECD Countries," *Journal of Risk and Insurance*, 67(4): 489-506.
- Webb, I., M. F. Grace and H. D. Skipper (2002), "The Effect of Banking and Insurance on the Growth of Capital and Output," *Center for Risk Management and Insurance Working Paper*, 02-1.